



みなさん、こんにちは。

いつも、会の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年もわずかとなりました。来年はウクライナやイスラエルの紛争は収まってほしいものですね。

石破首相、トランプ大統領と日本とアメリカはこれからも良好な関係であってほしいですね。

一年間ありがとうございました。

これからもよろしく願い致します。

特集

日常的なスマホの使い方:頻度の高い上位5例

1. 情報検索

現代において、スマホは最も手軽な情報源の一つです。知りたいことがあれば、検索エンジンにキーワードを入力するだけで、膨大な情報にアクセスできます。ニュース、レシピ、地図、商品情報など、日常生活に必要なあらゆる情報を瞬時に得ることができます。

2. コミュニケーション

電話やメールはもちろん、LINEやSNSなど、さまざまなコミュニケーションツールがスマホに集約されています。友人や家族との連絡はもちろん、仕事でのやり取りやコミュニティへの参加など、人間関係を円滑にする上で欠かせない役割を果たしています。



3. 写真・動画の撮影・編集

高性能なカメラを搭載したスマホは、手軽に写真や動画を撮影できるようになりました。大切な瞬間を記録したり、SNSに投稿したりするなど、思い出作りや情報発信に活用されています。また、多くのスマホには、撮影した写真を加工したり、動画を編集したりできる機能も搭載されています。

4. アプリの使用

スマホには、様々な目的に特化したアプリが数多く存在します。音楽鑑賞、ゲーム、決済、健康管理など、アプリを活用することで、より快適な生活を送ることができます。

5. インターネット閲覧

ニュースサイト、ブログ、オンラインストアなど、インターネット上の様々なウェブサイトを閲覧できます。通勤時間や空き時間を利用して、興味のある情報を収集したり、オンラインショッピングを楽しんだりすることができます。

これらの5つの機能は、現代人の生活に深く根付いており、もはやスマホなしでは生活できないという人が多いのではないのでしょうか。

その他、頻度の高い使い方の例

- **地図アプリ:** 目的地までの経路検索や、現在地確認など、移動に欠かせないツールです。
- **音楽ストリーミング:** お気に入りの音楽をいつでもどこでも楽しむことができます。
- **電子書籍:** 本をスマホで読むことで、場所を選ばずに読書を楽しむことができます。
- **決済:** スマホで支払いができるため、財布を持ち歩く必要がなくなりました。

◆情報検索のキーワードの入れ方について

情報検索のキーワードの入れ方は、検索結果の精度を大きく左右する重要な要素です。

- **具体的な言葉を選ぶ:**
 - 例えば、「料理」ではなく、「カレー レシピ」のように、具体的な言葉を入れることで、より絞り込んだ検索結果を得られます。
- **複数のキーワードを組み合わせる:**
 - 「ダイエット方法」と「運動」のように、複数のキーワードを組み合わせることで、より複合的な情報を検索できます。
- **類義語や関連語も検討する:**
 - 「美味しい」だけでなく、「絶品」や「本格的」といった類義語も試してみましょう。
- **不要な言葉は省く:**
 - 「無料」や「簡単」といった言葉は、検索結果を絞り込む場合に有効ですが、必ずしも必要な言葉ではありません。
- **マイナス記号を使う:**
 - 特定のキーワードを除外したい場合は、マイナス記号を使います。例えば、「猫 -犬」と検索すると、犬に関する情報を除外した猫に関する情報が表示されます。
- **引用符を使う:**
 - 複数の単語を正確な順序で検索したい場合は、引用符で囲みます。
 - 例:「東京オリンピック」

- 「東京オリンピック 2020 NOT 開会式」:
東京オリンピックに関する情報で、開会式に関する情報は除外したい場合

※今月の記事は小林さんでした。

QR コードは 4 月からの年間予定です



2025 年 1 月～2 月の予定

2025 1/07 定例会

1/14 WEB

1/21 定例会 講座

1/28 定例会、PC フォーラム発行など

2/04 定例会

2/11 WEB 建国記念の日

2/18 定例会 講座

2/25 定例会、PC フォーラム発行など

※WEB 定例会は LINE グループでの開催です。

キーワードの入れ方

- **AND 検索:**
 - 複数のキーワードをすべて含むページを検索したい場合に用います。多くの検索エンジンでは、AND を省略しても、複数のキーワードをスペースで区切ることで AND 検索になります。
- **OR 検索:**
 - 複数のキーワードのいずれかを含むページを検索したい場合に用います。多くの検索エンジンでは、OR を大文字で入力します。
- **NOT 検索:**
 - 特定のキーワードを含まないページを検索したい場合に用います。多くの検索エンジンでは、NOT を大文字で入力します。

-その他の検索テクニック

- **ワイルドカード:**
 - 言葉の一部がわからない場合に、アスタリスク(*)を使用します。
- **サイト内検索:**
 - 特定のウェブサイト内を検索したい場合は、サイトの検索ボックスを使用するか、検索エンジンのサイト内検索機能を利用します。

例

- 「**ダイエット方法 AND 運動**」:
ダイエット方法と運動という 2 つのキーワードを両方含むページを検索

